



平成 26 年 1 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社シーマ
代表者名 代表取締役社長 白石 勝代
(J A S D A Q ・ コード 7 6 3 8)
問合せ先 取締役管理統括 松橋英一
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 1 月 21 日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 募集の概要

(1) 払 込 期 日	平成 26 年 2 月 6 日
(2) 発 行 新 株 式 数	普通株式 15,950,000 株
(3) 発 行 価 額	1 株につき 22 円
(4) 調 達 資 金 の 額	350,900,000 円
(5) 募集又は割当方法 (割 当 予 定 先)	第三者割当の方法により、以下の割当予定先に対して以下の株式数を割り当てます。 株式会社ベルコ 4,550,000 株 株式会社つばさ 4,550,000 株 株式会社オーキッド 1,370,000 株 エス・エイチ・サービス株式会社 1,370,000 株 有限会社蒲公英 1,370,000 株 有限会社うつ味 1,370,000 株 有限会社ブッシュ・クローバー 1,370,000 株
(6) そ の 他	前記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。

2. 募集の目的及び理由

(1) 本第三者割当の目的及び理由

当社はブライダルジュエリーを販売する小売企業として全国 55 店舗の店舗展開を実施して営業を続けております。ブライダルジュエリーは宝飾品の中ではあまり流行に左右されず、決まったニーズが存在していることより、安定した売上が見込める商材です。ブライダルジュエリーに特化した専門店での販売という独自のビジネスモデルで、当社は創業以来営業を進めてまいりました。近年においてブライダルジュエリーの市場は、従来ファッションジュエリー等を中心に販売していた会社が安定した売上げが見込めるブライダルジュエリーに着目し、ブライダルジュエリーの専門店舗の展開、新たなブライダルジュエリーブランドの設立、地域限定で展開していた企業が全国展開を実施したこと等により参入する企業や店舗が増加しました。その結果、顧客層が増加していない環境下において販売店舗のみが増加したことで、企業間での競争が激化しております。また、集客において従来の結婚情報誌等の雑誌広告媒体では効果が減少していること等の要因から、今期においては、売上が減少し（第 20 期第 2 四半期売上前期比 18.2%減）業績の低下を招く結果となっており、現在、売上回復のために至急業務の改善を実施することが必須となっております。

つきましては、業績改善のために次の施策を計画しております。

① IT 投資による集客力の強化

現在の主要な集客手段は結婚情報誌によるものと提携先の結婚式場やホテル等のブライダル企業からの顧客紹介になりますが、結婚情報誌からの集客については掲載企業の増加による分散化や消費者の行動様式が雑誌からスマートフォン等の新メディアに注目する変化が生じたこと等の理由により減少傾向にあります。また、結婚情報誌等の雑誌やブライダル企業については発行されているエリアや施設の立地やカバーしているエリア等により顧客に訴求できる地域が限定されます。今後の集客媒体として有力であると考えているのは、地域を問わず全国的に当社のブランドを手軽な方法で伝えることが可能なインターネットを使った広告であり、今後は、インターネットを使った集客に力を入れていく計画です。これにより今までアプローチできなかった地域の顧客層にも効果的なアプローチが可能となり、インターネットを手軽に使えるスマートフォン等の新しいメディアに対応した広告作りを実施することで、全体の集客数の増加を図ります。

② 既存店舗の移転及び改装

現在の店舗の中で高額な家賃の店舗、契約面積の広い 5 店舗については移転を進め、固定費の削減により収益改善に寄与する店舗構成に変更すると同時に既存店舗の内装をリニューアルすることで店舗の魅力を向上させて顧客にアピールできる店舗作りを進めてサービスの充実を図り、収支の改善と売上向上を進めます。

③ 国内新規出店

インターネット広告の強化により、従来の雑誌広告、結婚式場やホテル等のブライダル企業といった提携先からの顧客紹介による集客では地域が限定されるために実現できなかった国内のすべてのエリアにおいて当社ブランドを訴求することが可能となり、従来と異なったエリアでの顧客へのアピールを実施することで、従来の集客方法ではアプローチが難しいために実施していない新規エリアでの出店を進めて、新しい顧客層の開拓による売上増加を図ります。

④ 海外出店準備

現在進めている国内での店舗展開の充実と同時に海外市場に向けた基盤づくりとしてアジア地域を中心とした海外有力地での市場調査活動や拠点作りを実施し、海外展開についての準備を進め、近い将来に海外出店を始め、海外での売上獲得を進めます。

以上の施策を実施することにより、既存店での売上増加と新たな顧客層へのアプローチによる、集客数の増加が達成され、本施策により売上向上がなされることで業績改善を実現していく計画です。

(2) 第三者割当による資金調達方法を選択した理由

本第三者割当により調達する資金については、業績回復のための諸施策を速やかに実施するために必要な資金であり、その使途が明確であります。間接金融の場合、現在の業績状況の推移、今後の業績の予想、本施策による業績回復の可能性等を金融機関が検討した上で、新規融資の可否を判断することとなり、時間を要するため、短期間で一度に多くの資金を調達することは難しい状況です。従いまして、通常の運転資金については従来どおり銀行融資にて手当てしていき、業績回復のための施策は出来るだけ速やかに行う必要性がありますので、本第三者割当による資金にて実施していく予定です。他の方法として、公募増資も検討いたしました。現状の業績状況では募集を実施しても当社が期待する出資額を満たす引受先を見つけることがかなり難しいという状況があり、社債発行についても同様であると判断しております。また、社債については既に銀行を引受先として私募社債を発行しており、銀行を更なる引受先にすることは難しい状況です。株主割当の場合は新たな投資家を探す必要はなく、株式の希薄化も発生しませんが、当社のように大株主の比率が高い会社で、株主割当で新株を発行した時に、一般の株主が割当に応じない場合、発行済株式総数に対する大株主の比率がさらに高くなってしまいうため、今回は採用をいたしませんでした。自己株式を売却することも検討しましたが、自己株式の保有数が少ないため、十分な資金を確保することが困難であり、最終的には今回の方法を選択することが最善と判断いたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	350,900,000円
② 発行諸費用の概算額	10,900,000円
③ 差引手取概算額	340,000,000円

(注) 発行諸費用の概算額の内訳は、書類作成費用、登記費用、調査費用、印刷会社への支払い費用等になります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① IT投資による集客力の強化	40	平成26年2月～平成26年4月
② 既存店舗の移転及び改装	80	平成26年2月～平成26年9月
③ 国内新規出店	200	平成26年2月～平成26年9月
④ 海外出店準備	20	平成26年2月～平成26年9月

※調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

※上記使途について具体的には

- ①についてはインターネット集客サイト構築のための制作・開発費用及び店舗における顧客への商品説明やサービスのご案内に使用するタブレット等の購入やそれを使用するための通信環境設備設置等のIT機器購入及び設置費用
- ②については既存店舗の移転改装設備投資費用
- ③については現在計画している国内5店舗の新規出店に伴う内外装費用、敷金・保証金費用
- ④については海外出店のための準備費用として調査費用、事務所、店舗開設準備のための費用となります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

差引手取概算額340百万円については、上記の売上増加のための施策を実現するために充当させていただきます。現在会社の経営状況を悪化させている一番大きな原因は売上の低下にあります。したがって本第三者割当により調達される資金は、売上向上のための施策を実現し、早期に業績を改善するための資金として使用するものであり、資金の使途については十分に合理性があるものと判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

発行価額につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日（平成 26 年 1 月 20 日）の東京証券取引所 J A S D A Q スタンダード市場における当社普通株式の、直前営業日終値である 23 円からのディスカウント率 4.35%（小数点以下第三位四捨五入）である 22 円といたしました。なお、当該発行価額につきましては、直前営業日までの過去 6 ヶ月間の終値の平均値 22.60 円（小数点以下第三位四捨五入）からのディスカウント率が 2.65%（小数点以下第三位四捨五入）、直前営業日までの過去 3 ヶ月間の終値の平均値 22.69 円（小数点以下第三位四捨五入）からのディスカウント率が 3.04%（小数点以下第三位四捨五入）、直前営業日までの過去 1 ヶ月間の終値の平均値 22.33 円（小数点以下第三位四捨五入）からのディスカウント率が 1.48%（小数点以下第三位四捨五入）であります。

割当予定先を選定し引受を依頼する過程において、当社として現在の経営状況を勘案する中で、業績を早期に改善する緊急性があり、業績改善のための諸施策を早期に実施することが重要であると判断いたしました。そのため、割当予定先からの資金調達を迅速に実施する必要がありますので、発行価格についてはディスカウントを行うことといたしました。上記発行価額は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（平成 22 年 4 月 1 日）により、原則として株式の発行に係る取締役会決議の直前日の価額（直前日における売買がない場合は、当該直前日から遡った直近日の価額）を基準として決定することとされているため、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日の終値を基準といたしました。

なお、払込金額が割当予定先に特に有利でないことに係る適法性に関する監査役の意見等は以下のとおりです。

本日開催した本第三者割当に係る取締役会に監査役全員（3 名うち社外監査役 2 名）が出席し、本第三者割当の実施を決議した取締役会において、発行価額である 22 円は当該取締役会決議日の直前営業日の東京証券取引所 J A S D A Q スタンダード市場という客観的な市場価格を基準に算定されており、また日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠して算定されたものであり、税法上の有利発行規定にも該当しない内容であることを踏まえると同時に、ディスカウントについては当社の業績改善の緊急性を鑑みると、上記発行価額については特に有利な条件での発行に該当せず、適法である旨の意見が表明されております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により発行される株式は 15,950,000 株（議決権数 159,500 個）であり、本第三者割当により、当社の平成 25 年 9 月 30 日現在の発行済株式数 183,765,644 株（総議決権数 1,832,925 個）に対して 8.68%の割合（総議決権に対する割合 8.70%）で 25%未満の希薄化が生じることとなります。しかしながら本第三者割当は、業績向上のために実施する事業の拡大及び収益の改善を目的としたものであり、結果的には株主の皆様の利益の向上につながるものと考えており、本第三者割当の発行数量及び希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

(1)	名 称	株式会社ベルコ		
(2)	所 在 地	大阪府池田市空港一丁目 12 番 10 号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 齋藤 齋		
(4)	事 業 内 容	冠婚葬祭互助会		
(5)	資 本 金	100 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	昭和 44 年 4 月 3 日		
(7)	発 行 済 株 式 数	200,000 株		
(8)	決 算 期	3 月		
(9)	従 業 員 数	8,051 人		
(10)	主 要 取 引 先	エス・エイチ・サービス株式会社、株式会社サングラッド		
(11)	主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行		
(12)	大株主及び持株比率	株式会社さくら運輸 78%		
(13)	当事会社間の関係			
	資 本 関 係	株式会社ベルコは、当社の株式を 1,212,000 株保有しております。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	結婚式場として株式会社ベルコより当社への顧客紹介及び当社からも株式会社ベルコへ顧客を紹介しており、紹介手数料の支払いが相互に発生しています。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	株式会社ベルコの代表取締役齋藤齋氏は当社主要株主の近親者のため関連当事者に該当いたします。		
(14)	最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
	純 資 産	44,635	48,903	51,326
	総 資 産	298,371	304,087	313,685
	1 株 当 たり 純 資 産 (円)	223,178	244,515	256,630
	売 上 高	58,658	59,778	60,369
	営 業 利 益	4,215	4,515	5,512
	経 常 利 益	8,729	9,091	9,068
	当 期 純 利 益	5,191	4,266	2,422
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	25,957	21,330	12,111
	1 株 当 たり 配 当 金 (円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(1) 名 称	株式会社つばさ		
(2) 所 在 地	兵庫県川西市多田桜木一丁目9番22号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 齋藤 武雄		
(4) 事 業 内 容	運送業（送迎バス、観光バス、霊柩車、寝台車）		
(5) 資 本 金	50百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成10年6月19日		
(7) 発 行 済 株 式 数	1,000株		
(8) 決 算 期	3月		
(9) 従 業 員 数	45人		
(10) 主 要 取 引 先	株式会社ベルコ		
(11) 主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行		
(12) 大株主及び持株比率	株式会社互助センター友の会 100%		
(13) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	該当事項はありません。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
純 資 産	1,048	1,344	1,738
総 資 産	15,254	15,302	15,101
1株当たり純資産(円)	1,048,000	1,344,000	1,738,000
売 上 高	1,815	1,835	1,860
営 業 利 益	521	667	756
経 常 利 益	273	454	531
当 期 純 利 益	231	295	393
1株当たり当期純利益(円)	231,000	295,000	393,000
1株当たり配当金(円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(1)	名 称	株式会社オーキッド		
(2)	所 在 地	東京都北区滝野川三丁目 48 番 1 -807 号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 清水 孝則		
(4)	事 業 内 容	生花販売		
(5)	資 本 金	10 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	平成 5 年 3 月 19 日		
(7)	発 行 済 株 式 数	110 株		
(8)	決 算 期	5 月		
(9)	従 業 員 数	1 名		
(10)	主 要 取 引 先	株式会社ベルコ		
(11)	主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行		
(12)	大株主及び持株比率	有限会社リリーフ 81.8%、株式会社ベルコ 18.1%		
(13)	当事会社間の関係			
	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(14)	最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成 23 年 5 月期	平成 24 年 5 月期	平成 25 年 5 月期
	純 資 産	163	173	199
	総 資 産	188	198	241
	1 株 当 たり 純 資 産 (千 円)	1,482	1,572	1,814
	売 上 高	202	230	306
	営 業 利 益	19	22	43
	経 常 利 益	19	22	44
	当 期 純 利 益	19	13	44
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (千 円)	180	126	402
	1 株 当 たり 配 当 金 (円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(1) 名 称	エス・エイチ・サービス株式会社		
(2) 所 在 地	東京都豊島区駒込四丁目7番5-601号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 西村 苗子		
(4) 事 業 内 容	不動産業、金融業、貸衣装		
(5) 資 本 金	10百万円		
(6) 設 立 年 月 日	昭和58年3月12日		
(7) 発 行 済 株 式 数	50株		
(8) 決 算 期	11月		
(9) 従 業 員 数	3名		
(10) 主 要 取 引 先	有限会社シーズ富山		
(11) 主 要 取 引 銀 行	三井住友銀行		
(12) 大株主及び持株比率	佐々木敏之 70%、清水孝則 30%		
(13) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	該当事項はありません。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成22年11月期	平成23年11月期	平成24年11月期
純 資 産	553	650	671
総 資 産	9,995	8,734	9,044
1株当たり純資産(円)	11,060,000	13,000,000	13,420,000
売 上 高	310	266	231
営 業 利 益	3	42	4
経 常 利 益	29	65	29
当 期 純 利 益	56	68	20
1株当たり当期純利益(円)	221,200	260,000	400,000
1株当たり配当金(円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(1)	名 称	有限会社蒲公英		
(2)	所 在 地	大阪府大阪市東成区大今里西二丁目7番23号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 北川 吉紀		
(4)	事 業 内 容	生花販売、互助会員の募集		
(5)	資 本 金	3百万円		
(6)	設 立 年 月 日	平成12年12月26日		
(7)	発 行 済 株 式 数	60株		
(8)	決 算 期	11月		
(9)	従 業 員 数	33人		
(10)	主 要 取 引 先	株式会社セレマ、株式会社ベルコ		
(11)	主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行		
(12)	主たる出資者及び出資比率	北川吉紀45%、有限会社リリーフ35%、株式会社ベルコ10%		
(13)	当事会社間の関係			
	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(14)	最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成22年11月期	平成23年11月期	平成24年11月期
	純 資 産	149	166	175
	総 資 産	191	201	209
	1株当たり純資産 (千円)	2,492	2,774	2,916
	売 上 高	385	411	406
	営 業 利 益	26	24	10
	経 常 利 益	28	29	11
	当 期 純 利 益	29	29	11
	1株当たり当期純利益 (千円)	487	494	189
	1株当たり配当金(円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(1) 名 称	有限会社うつ味		
(2) 所 在 地	京都府京都市山科区小山鎮守町 19 番地		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 澤田 秀一 代表取締役 齋藤 齋		
(4) 事 業 内 容	仕出料理業		
(5) 資 本 金	3 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成 12 年 9 月 14 日		
(7) 発 行 済 株 式 数	60 株		
(8) 決 算 期	7 月		
(9) 従 業 員 数	13 人		
(10) 主 要 取 引 先	株式会社互助センター友の会、株式会社ベルコ、株式会社セレマ		
(11) 主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行		
(12) 主たる出資者及び出資比率	清水光恵 45.0%、大堀要 31.6%		
(13) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	該当事項はありません。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	有限会社うつ味の代表取締役齋藤齋氏は当社主要株主の近親者のため 関連当事者に該当いたします。		
(14) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 23 年 7 月期	平成 24 年 7 月期	平成 25 年 7 月期
純 資 産	114	129	144
総 資 産	144	159	175
1 株 当 たり 純 資 産 (千 円)	1,907	2,151	2,401
売 上 高	302	297	294
営 業 利 益	15	20	21
経 常 利 益	17	23	23
当 期 純 利 益	17	23	23
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (千 円)	293	389	386
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(1) 名 称	有限会社ブッシュ・クローバー			
(2) 所 在 地	大阪府池田市空港一丁目5番21号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 澤田 秀一、代表取締役 齋藤 齋			
(4) 事 業 内 容	生花販売			
(5) 資 本 金	3百万円			
(6) 設 立 年 月 日	平成12年6月26日			
(7) 発 行 済 株 式 数	60株			
(8) 決 算 期	4月			
(9) 従 業 員 数	11人			
(10) 主 要 取 引 先	株式会社互助センター友の会			
(11) 主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行			
(12) 主たる出資者及び出資比率	萩原敬子 60%、株式会社互助センター友の会 40%			
(13) 当事会社間の関係				
資 本 関 係	該当事項はありません。			
人 的 関 係	該当事項はありません。			
取 引 関 係	該当事項はありません。			
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	有限会社ブッシュ・クローバーの代表取締役齋藤齋氏は当社主要株主の近親者のため関連当事者に該当いたします。			
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	平成23年4月期	平成24年4月期	平成25年4月期
純 資 産		104	104	86
総 資 産		132	133	116
1株当たり純資産 (千円)		1,747	1,734	1,436
売 上 高		318	317	307
営 業 利 益		20	△7	△22
経 常 利 益		29	△1	△17
当 期 純 利 益		29	△1	△17
1株当たり当期純利益 (千円)		491	△11	△298
1株当たり配当金(円)		0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(注) 割当予定先は当社の現在の取引先及び取引先関係者であり、これまでの商取引において、市民社会に脅威を与える反社会的勢力に対して断固として対決していくとの方針を共有しております。当社は独自の調査として割当予定先及びその役員が暴力団及びその構成員等である事実、資金提供その他の行為を行うことを通じて暴力団等の維持や運営に協力若しくは関与している事実、意図して暴力団等と交流を持っている事実、割当予定先の経営に暴力団等が関与している事実等についての調査をインターネットによって実施しました。また一部の役員については別途当社が独自に作成した調査票を使って、割当先企業の管理部門担当者による調査を実施いたしました。さらに専門的に割当予定先の役員全員及び主要株主にまで範囲を広げて精度の高い調査を実施するために調査会社の株式会社トクチョー（東京都千代田区神田駿河台 3-2-1 代表者 荒川一枝）に依頼しました。同社は、割当予定先及びその役員又は主要株主が暴力団及びその構成員等である事実、資金提供その他の行為を行うことを通じて暴力団等の維持や運営に協力若しくは関与している事実、意図して暴力団等と交流を持っている事実、割当予定先の経営に暴力団等が関与している事実等についての調査を実施し、その結果について調査報告書が当社宛に提出されました。当社の独自調査及び株式会社トクチョーの調査の結果として、最終的に割当予定先は、反社会的勢力とは一切関係がないことが確認されました。また別途、割当予定先全ての企業の代表者より当社の代表者宛に、提出企業とその役員及び主要株主が反社会的勢力とは一切関係がない旨の報告書が提出されました。当社独自の調査、調査会社の報告書、各割当予定先からの報告書を総合的に検討した結果として、割当予定先とその役員及び主要株主が反社会的勢力との関係がないことを示す確認書を株式会社東京証券取引所に提出いたしました。

(2) 割当予定先を選定した理由

割当予定先については、本第三者割当実施を企画した段階で、割当予定先は当社の基幹事業であるブライダルジュエリービジネスにおいて相乗効果が見込まれるとともに、当社の事業に対して理解があり営業に協力をいただける友好的な企業を選定することといたしました。その中で冠婚葬祭事業を運営する株式会社ベルコは全国的に顧客紹介業務や引出物販売での取引があり、当社代表取締役の白石勝代と同社の代表取締役齋藤斎氏が近親者であること等から、適切な割当予定先として想定され、当社代表取締役の白石勝代が同社の代表取締役齋藤斎氏に出資を直接お願いいたしました。同社には本第三者割当の目的及び資金使途を十分にご理解いただき、出資についての同意をいただきました。合わせて同社より同社の関連企業もしくは取引先企業である株式会社つばさ、株式会社オーキッド、エス・エイチ・サービス株式会社、有限会社蒲公英、有限会社うつ味、有限会社ブッシュ・クローバーの6社をご紹介いただきました。いずれも冠婚葬祭にかかわる事業を運営している会社で今後も当社の事業に関連性があり、相乗効果を生み出すことができ、株式会社ベルコの推薦もあり、出資をお願いいたしましたところ、全社よりご同意いただく旨の意向表明書が提出され、割当予定先として選定いたしました。

株式会社ベルコについては、全国で冠婚葬祭のビジネスを広範囲に実施しており、その中で婚礼ビジネスではベルクラシックブランドでの結婚式場等を全国において約40会場展開しております。当社及び同社は相互に顧客を紹介することにより顧客満足度を高めると同時に相互の業績向上につながる関係であり、今後とも友好的な関係を構築していくことができる企業であります。株式会社つばさは式場の送迎バス等を運行する運送事業、株式会社オーキッドは式場にて使用する生花の販売、エス・エイチ・サービス株式会社は集金の代行や結婚衣装のレンタル、有限会社蒲公英は式場にて使用する生花の販売及び互助会会員の募集、有限会社うつ味は仕出し料理業、有限会社ブッシュ・クローバーは生花や植木の販売を行っており、いずれの会社も冠婚葬祭ビジネスを支える重要な業務を行っております。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先は中長期の保有方針であることを口頭で確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容は以下の通りです。

株式会社ベルコ

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 25 年 12 月 30 日までの残高が記載された預金通帳のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

株式会社つばさ

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 26 年 1 月 6 日までの残高が記載された預金通帳のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

株式会社オーキッド

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 26 年 1 月 6 日までの残高が記載された金融機関発行の預金残高照会結果のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

エス・エイチ・サービス株式会社

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 26 年 1 月 6 日までの残高が記載された金融機関発行の預金残高照会結果のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

有限会社蒲公英

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 26 年 1 月 6 日までの残高が記載された金融機関発行の預金残高照会結果のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

有限会社うつつ

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 26 年 1 月 6 日までの残高が記載された金融機関発行の預金残高照会結果のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

有限会社ブッシュ・クローバー

当社は、口頭にて同社が払込みに要する資金が自己資金である旨の説明を受けております。また、当社の要請に基づき同社から提出された経営成績や財政状態等に関する調査票により同社が本第三者割当に係る払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認していることに加え、平成 26 年 1 月 6 日に現金及び預金の残高についての確認のため、平成 26 年 1 月 6 日までの残高が記載された金融機関発行の預金残高照会結果のコピーの提出がなされております。本資料を確認すると出資額以上の残高があり、払込みについて確実性があるものと判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成 25 年 9 月 30 日現在）		募 集 後	
株式会社ホワイトストーン	19.93%	株式会社ホワイトストーン	18.34%
白石 幸生	19.84%	白石 幸生	18.26%
白石 幸栄	10.99%	白石 幸栄	10.11%
白石 勝代	7.14%	白石 勝代	6.57%
株式会社ベルコ	0.65%	株式会社ベルコ	2.89%
榊原 節子	0.46%	株式会社つばさ	2.28%
田中 珠里	0.41%	株式会社オーキッド	0.69%
小林 新一郎	0.38%	エス・エイチ・サービス株式会社	0.69%
加勢 正浩	0.38%	有限会社蒲公英	0.69%
齋藤 幸子	0.32%	有限会社うつ味	0.69%
—	—	有限会社ブッシュ・クローバー	0.69%

（注） 1. 平成 25 年 9 月 30 日現在の株主名簿を基準としております。

8. 今後の見通し

本第三者割当による平成 26 年 3 月期連結業績への影響は軽微であると予想されます。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、希薄化率が 25%未満であり、支配株主の異動も見込まれないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 支配株主との取引等に関する事項

当社は平成 25 年 11 月 14 日に開示したコーポレートガバナンス報告書にて「支配株主との取引等を行う際は、一般の取引と同様に、適正な条件で行うことを基本方針としています。従いまして、当社は、取引条件等の内容について妥当性を十分に審議するため、取締役会において市場動向などを総合的に勘案して合理的に決定するようにし、少数株主に不利益を与えないように適切に対応しています。」と定めており、本第三者割当の実施についてもこの方針に相違はありません。

公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関しまして、本第三者割当に係る取締役会において、出席取締役全員の賛同を得て決議しており、また、当社監査役全員（常勤監査役吉川秀雄氏、社外監査役妙見聡子氏及び独立役員で社外監査役の山根裕一郎氏）が当該取締役会に出席し、本第三者割当について異議がない旨の意見を表明しております。なお、当社の取締役である白石勝代氏は、割当予定先の株式会社ベルコの大株主である株式会社さくら運輸の議決権の過半数を所有する齋藤齋氏と近親者であるため、利益相反となり得る立場にあることを鑑みて、本第三者割当増資に係る審議及び決議には参加しておらず、本第三者割当に係る取締役会の決議は株式会社ベルコとは利害関係を有しない者による決定であり、公正性が担保されていると判断しております。

なお、割当予定先の株式会社ベルコの大株主である株式会社さくら運輸の議決権の過半数を所有する齋藤齋氏は、当社の支配株主である白石幸生氏及び白石幸栄氏の近親者にあたるため、本第三者割当は、東京証券取引所の定める、「支配株主その他施行規則で定める者」との取引に該当し、少数株主の保護に配慮するため、当社の独立役員で社外監査役の山根裕一郎氏より平成 26 年 1 月 21 日に意見をいただいております。同氏は、「本第三者割当については会社の売上を増加させるための資金を調達することを目的としており、売上を増加させるための諸施策を迅速に実施する必要性については適正であると判断しています。次に割当予定先の状況については、その事業内容は株式会社シーマとの相乗効果があり、保有方針についても中長期保有であり適切であります。資金使途については、株式会社シーマの今後の事業展開に向けた出店調査や移転交渉を実施している事実が確認され、その内容には具体性、実現可能性があり、目的との整合性があります。発行条件については不当に発行価格が引下げられているわけではなく、日本証券業協会の「第三者割当増資の取り扱いに関する指針」に準拠している範囲で設定されております。これらの意見については、東京証券取引所への提出書類及び関連資料、株式会社シーマ担当者、幹事証券会社、弁護士等から確認した結果を総合的に判断した結論であり、本施策を速やかに実施することにより、業績の改善が早期に実現し、企業価値が向上することは少数株主にとっても利益につながるものであるため、本第三者割当は少数株主にとって不利益なものではないと結論いたしました。」との意見を表明し、本事項についての意見書が独立役員の山根氏より当社に提出されております。

11. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	平成23年3期	平成24年3期	平成25年3期
連結売上高	11,118百万円	10,021百万円	8,556百万円
連結営業利益	491百万円	△326百万円	△662百万円
連結経常利益	487百万円	△335百万円	△684百万円
連結当期純利益	183百万円	△375百万円	△1,216百万円
1株当たり連結当期純利益	1.00円	△2.05円	△6.62円
1株当たり配当金	1.00円	－円	－円
1株当たり連結純資産	31.52円	28.48円	21.85円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成25年9月30日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	183,765,644株	100%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	－株	－

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
始値	20円	21円	20円
高値	30円	28円	25円
安値	16円	19円	16円
終値	22円	21円	18円

② 最近6か月間の状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
始値	21円	22円	22円	22円	24円	23円
高値	27円	24円	23円	29円	25円	24円
安値	21円	21円	20円	22円	21円	20円
終値	22円	22円	22円	24円	23円	22円

③ 発行決議日前営業日における株価

	平成 26 年 1 月 20 日
始 値	23 円
高 値	24 円
安 値	23 円
終 値	23 円

- (4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況
該当事項はありません。

12. 発行要項

- (1) 発行新株式数 普通株式 15,950,000 株
(2) 発行価額 1 株につき金 22 円
(3) 発行価額の総額 350,900,000 円
(4) 資本組入額 175,450,000 円
(5) 募集または割当方法 第三者割当の方法による
(割当予定先)
株式会社ベルコ
株式会社つばさ
株式会社オーキッド
エス・エイチ・サービス株式会社
有限会社蒲公英
有限会社うつ味
有限会社ブッシュ・クローバー
(6) 申込期日 平成 26 年 2 月 6 日
(7) 払込期日 平成 26 年 2 月 6 日
(8) その他 前記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力
発生を条件とする

以 上